

JERコンクリート補改修協会：
令和6年度総会を開催
会員同士のマッチングシステム導入へ

JERコンクリート補改修協会は8月1日、東京・港区のベイサイドホテルアジュール竹芝で令和6年度総会を開催した。今年度は、新規事業として建設業界の人手不足対策に乗り出す。具体的には全国的なネットワークを構築し、協会が全国の協会員と情報交換を行ってマッチング事業を展開し、施工管理者や作業員の不足など、人手不足による受注量減の解消を図る。また、中央省庁等の動向に対する情報発信のためメールマガジンを発行。国の指針や企画、法令改定のほか日本下水道事業団、(公社)日本水道協会、全国の上下水道コンサルタント、各事業体の動向などの共有に努める。

コンクリート防食技士の資格所有者の増加に向けて、会員の受講・受験・更新費等の無償対応を令和9年度まで継続するほか、技術者の育成に向け技術委員会活動の活性化も図る。

佐藤匡良会長は挨拶で「人材・労働力不足の問題に対しては、事務局が会員同士のマッチングを行う連携システムを開始する。全国規模で会員同士がWin-Winになるよう結束を固め、現場課題解決につながる支援を行っていく」などと目標および手段を示した。



佐藤会長

JERコンクリート補改修協会管路部会：
令和6年度総会開催
積算システムの使用実績が全国506件に

下水道用マンホールの長寿命化に取り組むJERコンクリート補改修協会管路部会は8月1日、東京・港区のベイサイドホテルアジュール竹芝で令和6年度総会を開催した。

事業報告では、積算システムの使用実績が青森県の77件をはじめ全国506件に上るなど活用が増えていることや、全国のマンホール防食・更生工事の発生状況などを報告。今年度は、下水道展'24東京のほか下水道管路管理技術施工展2024岩手など各種展示会に出展して知名度の向上を図る。自立マンホール更生方法については、従来の「ジックボード」工法の審査証明更新と、施工日数の短縮を図るために改良した「ジックボードVG工法（仮称）」の新規審査証明取得を活用した啓発活動を積極的に行い、工法の普及・活性化に努める。

冒頭挨拶に立った井上敬介部会長は、「開催中の下水道展'24東京では、当ブースへの来客が初日480名、2日目420名と例年に比べて多く、なかでも自治体やコンサルタントが7～8割を占めていたことから、マンホールの更生や防食への関心が高まり、情報収集の強化につながっているのではないかと分析した。



井上部会長